

SINAP Journal

Winter 2021

SINAPSERVICE

私たちにご相談ください



新規事業 サービス立ち上げ

シナップでは、私たちの持つサービス開発の経験、ITに関する知識を活かし、クライアントと話し合いながら、リーンキャンバスやコンセプトダイアグラム、バルソナ・シナリオ法などを用いて、ビジネスプランを具体化し、プロトタイプを行い、迅速に仮説検証を行うアプローチなど、これまでのワークフローに縛られない、クライアントとの新しい組み方、新しい価値の創出に取り組んでいます。



UXデザイン プランニング

シナップが進めるプロジェクトではUXデザインのプロセスをベースに、ユーザーのことをよく知り、サービス全体の中でその体験がどうあるべきかを、ユーザーの視点、ビジネスの視点それぞれで考え、課題の抽出、要件定義、解決策の提示を行い、精度の高いアウトプットをめざしています。シナップではサービスの新規立ち上げからリニューアルまで、企画・プランニングから携わり、プロジェクトローンチまでをトータルでサポートします。



Webサイト/アプリ 制作・開発・運用

デザイン能力、開発能力、品質管理能力、プロジェクト管理能力の高さもシナップの強みです。私たちは自分達の考えたプランを実現する高い制作・開発能力と、遅滞なくプロジェクトを進行し適切な品質を担保する能力を有しています。社内外の様々なプロジェクトを通して蓄積された経験やR&Dなど先進的な技術に関する取り組みや結果も、積極的にクライアントワークに還元しています。




グロース運用と 継続的な成長

シナップではリニューアル後のUI/UX改善、DMP+MA ツールの活用、A/Bテスト、オウンドメディアの運用など様々なマーケティング支援を通して、サービスの継続的な成長をお手伝いしています。社内にはビジネスを成長させ続けていくために、テーマに沿って知見を深めていく事例研究グループ「グロースチーム」があり、そのナレッジはクライアントへの提案に活かされています。

<https://sinap.jp>

 <https://www.facebook.com/sinapinc>

 @sinapinc

 info@sinap.jp



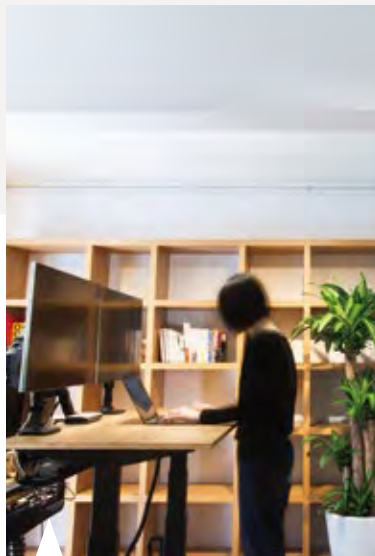
2階 ワークスペース

NEW OFFICE NEW SINAP

昨年2020年10月、シナップは12年居たそれまでのオフィスを離れ、表参道に近い場所へオフィスを移転しました。

それは新型コロナウイルス感染拡大の中、フルリモート体制に移行し、あらたな働き方に合わせた、あたらしいオフィスの形を模索した結果でした。出社自由となったからこそ、あたらしいオフィスはデスクの数を減らし、代わりによりアクセスしやすく、より心地良く、より効率良く働ける環境を目指しました。

そこで、今号では、あたらしいシナップのオフィスのご紹介とそこに至った想いを綴ってみたいと思います。



昇降デスク

スタンディングデスクとしても使える高機能デスク。ワークスペースのデスクはすべて電動で昇降し、座りっぱなしで疲れてきたら、立ちあがっての作業もできてリフレッシュできるんです。



ワークスペース

開放的なワークスペースのデスクは一席ずつ間隔を空けて配置。写真のように32インチの4Kモニターを2台配置し、手持ちのMacBook Proを接続すればトリプルモニターにして使えます。オフィスだとさらに仕事が捗る。そんな環境を目指しました。



エントランスバナー

シナップのあたらしいオフィスは前のオフィス同様一軒家。ユニークさはそのままです。玄関先ではシナップのコーポレートカラーが印象的な三角形バナーがみなさまをお迎えします。

休憩室

観葉植物とカリモクのソファでリラックスできる休憩室。ちょっと一息入れたいときに最高の空間です。実は中央に置かれたテーブルは電動で昇降するスタンディングテーブル。そして写真には写っていませんが、大型モニターとカメラ、スピーカーも設置されていて、いつでもワークスペースやオンライン会議室に早変わりする多機能ルームです。



大会議室

柔らかい外光が差し込む1階の大会議室はとてもリラックスした雰囲気。対面の会議はもちろん、いつでもリモート会議が始められるよう各種機材が常時セットアップされていて、オンラインでもオフラインでもストレスなく会議に臨めます。



エントランス

清潔感のある広くてゆったりとしたエントランスは奥に置かれた村上隆さんのアートがアクセント。印象的な螺旋階段は2階のワークスペースへと続いています。





あたらしいオフィスと あたらしい働き方を 探して

働く場所を選ばないという 流れは不可逆

オフィス移転については、新型コロナウイルス感染症拡大によってリモートワーク（在宅勤務）体制に切り替えた初期の頃から話し合っていました。

その中でよく話していたのが「事態が収束して日常に戻っても、働く場所を選ばない流れは、特に私たち一業界では不可逆なのでは。」というものでした。

一度リモートワークで十分仕事が出来たスタッフたちに、「はい、明日から出社してください」と言っても、オフィスにはもう誰も来てくれないのではないか…当時は冗談半分に、そんな話もしていました。

ただこれはあながち笑い話ではなく、実際に「リモートワーク可」の会社に転職してしまうケースもあるようです。逆に言えば、働く場所を選ばないというのは、採用にとっても間口を広げ、アピールポイントになりそうです。

対面でのコミュニケーションも大切

一方で、シナップでは対面でのコミュニケーションも大切にしています。

複雑な課題解決を行うには同じ場所

にいることで生まれる偶発的な会話やコラボレーションをはじめ、チームへの共感や帰属意識も含め、対面でのコミュニケーションの方が優れている面もまだまだ多いと考えるからです。これはお客様とのコミュニケーションでも同様です。

そこで私たちはまず「物理出社は必須ではなく、オンライン前提で組織や制度を進化させ、その上でオフラインを大事にする。」という方針を立てました。

なんだか矛盾しているように聞こえるかもしれませんが、基本的なことはオンラインでもこなせる状態にした上で、オフラインの価値を引きだし、提供していくという方針です。

ここには、オンライン化が進む社会で相対的にオフラインの価値が上がるという考えもあります。

オフィスの再定義

ではオフィスはどうあるべきでしょうか――。

私たちは検討の中で、「オフィスは行かなければならない場所ではなく、行きたくなる場所。場所を選ばず働くことが可能になったからこそ、訪れたいような場所でないければならないよね。」という話をしていました。

人と人が交流でき、コラボレーションが生まれる場所。より心地良く仕

事ができる場所。自宅の環境よりも仕事ができる場所。

チームや個人の都合、気分転換で寄れるサードプレイスのようなオフィス――。

リモートワークを前提とすると、常に全員がオフィスに揃う必要がないため、フロアの広さはそれほど必要ありません。

従来のオフィスは広さがコストに大きく影響していましたが、広くなくてよい分、交通の利便や過ごしやすさなどに投資していくことを考えました。

あたらしいオフィス

こうして私たちは2020年4月下旬頃から移転に向けて動き出しました。

様々な候補先の中、一時、六本木に決めた時もありませんでしたが、結果としてはこれまでのオフィスにほど近い神宮前。さらに駅近でキレイな物件に決定しました。

地図を見ていただけるとわかりますが、表参道ヒルズの真裏に位置します。

オフィスは穏やかな光が差し込む2階建の一軒家。

入り口にはシナップのロゴに使われている赤が印象的なバナーが掲げられています。

ワークスペースは座席が少ないながらも、昇降可能なデスク上には4Kモニター2台と充実のファシリティ。会議

室や休憩室には、カメラやマイクを常設、いつでも気軽にオンライン会議ができるようになっていた。自慢のオフィスが完成しました。

このご時世なので「遊びに来てください！」と言えないのが残念ですが……。いつか、気兼ねなく集まれる日がきたらパーティでも開催したいですね。その際はぜひ！



ネコ



仕事の合間の休憩でうちのどっかで寝てるニャンキのオデコを触りにいきます。昼間は熟睡なのですが、夕方くらいから活動を開始し仕事の邪魔をしに来ます。



ディレクター
鈴木 善明

イベント会社を退職後、シナップのディレクターに。常に複数案件を指揮しながらユーザー視点は絶対に忘れない。映像制作・写真ほか関心事への熱中ぶりに周囲も楽しくなる。猫好き。



電動ホットアイマスク



老いなのか...目のかすみや重みが辛い日々です。屋休みや就寝前、ちょっとした合間など会社から誕生日プレゼントで頂いた「3D アイマジック」を毎日使っています。じんわり暖かくマッサージしてくれるのでスッキリしゃっきりほぐされます。家で毎日取り合いになっています。いや、それ、私の。



デザイナー
小茅 奈美

テレビ局のデザイン部門、大手プロダクション数社を経てシナップ設立に参加。安定した品質を保ちながら新技術との親和性にも優れたデザインと、絶えない笑顔で創業からシナップを支える。福岡在住。

STAFF VOICE

Refresh at home 自宅でリフレッシュする方法



コロナ禍の影響で、ステイホームでの仕事や暮らしがまだまだ続きそうです。そんな時に大切なのは自分なりのリフレッシュ方法。お気に入りのアイテムに癒されてみたり、こだわりの一杯でホットひと息ついてみたり。スタッフそれぞれのリフレッシュ法を聞きました。

iPadで読書



コロナ禍前から在宅ワークだったのでコレだってものがないのですが、よく休憩がてらごろごろしながら読書します。昔と違って電子書籍が溢れているのでiPad一つあればどこでも読めて良いです。



フロントエンドエンジニア
村山 貴裕

地元の制作会社を退職後シナップに入社。現場叩き上げのスキルでコーディングを行うフロントエンドエンジニア。辛い食べ物は苦手で、ついでに越後人とは思えないお酒の弱さ。現在地元新潟よりフルリモート中。

お風呂でラジオを聞きながらダラダラする



お風呂にスマホ・iPad・飲み物を持ち込んで長時間ダラダラします。スマホでラジオを再生しながら、タブレットでマンガや雑誌、ネットサーフィンするのが楽しいです。汗かいてのどが潤くので、水分補給のために水も持ち込みます。



ディレクター
三國 翼

制作会社数社を経てシナップに入社。デジタルマーケティングを中心とした戦略、企画、設計、改善など担当。神奈川生まれ、佐渡ヶ島育ち。家には猫が2匹います。2020年12月に子供が産まれました、子供かわいい。

ピザ作り



深夜に人知れず黙々とピザ生地を捏ねています。リフレッシュなのかな!? 自宅で育てているバジル、トマトソースも自家製です。焼く際はオープンレンジよりも火力の強い魚焼きグリルで焼くのがオススメです。このままステイホームが長引くと趣味が高じて庭にピザ窯を作ってしまうそうです(笑)。



取締役 / クリエイティブディレクター
大川 貴裕

多くのWebサイトをはじめ、企業のブランディング、UXデザインなど幅広い分野で活躍している。個人で活動しているグラフィックデザイン分野では国際的なデザインコンペティション受賞歴も。生粋のハマっ子。

ランプとお酒



焚き火好きです。外出できない時は、家でアウトドアの調理道具を使って作る料理とお酒を楽しんでいます。お気に入りのランプをつけながら、自家製のスモークチーズをつまみに飲むウイスキーは最高です。



代表取締役/プロデューサー
坂西 裕彰

Web黎明期から一貫して顧客企業のビジネスに深く寄り添う提案を行い、指揮してきた数多くのプロジェクトはクライアントから高い評価を得ている。WebSig24/7モデレーター。長い黒髪が目印。

犬と戯れる



コロナ禍でペットを飼い始めた方も多いと思うのですが、うちもようやくずっと飼いたかった柴犬をお迎えしました。仕事中はケージに入れているのですが、ちょっと疲れた時にふらっと様子を見にいって撫でると元気100倍です。



デザイナー
竹田 笑里

埼玉県生まれ。カメラ専門店にてWebデザイナーを経験後、より様々なデザインに携わりたいという思いからシナップに入社。
趣味は写真撮影とライブと掃除。最近念願の柴犬を飼い始めました。名前は「ちくわ」です。

観葉植物



リモートワークが始まってから観葉植物を育てていて、日々癒しになっています。冬になってから温湿度計も購入しました。どんどん伸びて、健康に成長して欲しいです。



フロントエンドエンジニア
小川 大樹

アパレル販売員を経験後、もの作りたいという思いからweb業界へ転職。独学でフロントエンドの技術を学ぶ。無垢材や綿100%のシャツなどナチュラルな雰囲気のものが好き。

熱めにいれたハーブティー



熱めのハーブティーを飲んでます。体も気持ちもスッキリするのでおすすめです！通勤していた時は会社にあるミントティーをよく飲んでいました。写真にあるラズベリーリーフティーは陣痛に繋がると聞いて試しましたが効果はなかったかなあ。笑



デザイナー
久保田 さや佳

グラフィック・木工・建築・Webデザインと広く学び、広告代理店を経てシナップへ。使いやすさと結果を出せるデザインに挑戦し続けている。デジタルだけでなく手づくり品も好き。最近興味があるのはモーショングラフィックス。(育休中です)

ハンドドリップコーヒー



ケトルでお湯を沸かして、豆を挽き、ペーパーフィルターで淹れて、飲む。お湯が沸くまで音を聞いたり、挽き具合を目で見たり、淹れながら香りを楽しんだり。コーヒーを淹れる工程がゆったりと五感で楽しめるので、リフレッシュになっています。



デザイナー
飯山 嘉之

大学でマスコミュニケーションを専攻し、音楽関連企業で経営企画・宣伝販促・営業を経てシナップに。UIデザイン、CMS実装、CV改善を担当。デジタルインスタレーション、写真、ホルダリング、サウナを好むデザイナー。好きなコーヒー豆は酸味少なめの深煎り。

ペットと遊ぶ



最近セイブシバナヘビを飼い始めました。水玉柄が特徴のアナコンダというモルフの女の子です。上向きの鼻がかわいいです。触りすぎてストレス与えてしまわない程度にハンドリングさせてもらっています。名前募集中です。



ディレクター
松山 里紗

神奈川県川崎市生まれ。美容専門学校を卒業。学生時代はセットサロンとメイド喫茶でアルバイト。前職ではWeb制作会社でエンジニアとしての経験を経て、シナップに転職。ゲームとロックと廃墟と爬虫類と珈琲が好き。アウトドア派。

自然派アロマセラピー?



ローズマリーを育てています。晴れた日にベランダに出て、香りを楽しみつつ、大きくなったなあ♪と水やり。当初想像していたよりも楽しく、気持ちがりフレッシュします。



総務/秘書/広報
三木 春香

千葉県生まれ。食品メーカー、人材紹介会社の営業を経験の後、責任を持った自由のもと次代を作るシナップに魅力を感じ、Adminとして入社。
好きなお酒はウイスキーの中でもシングルモルト。

長風呂



引越してお風呂が広くなったので、湯船につかるようになりました。いろんな入浴剤を入れて楽しんでます。ちょっとお高めのおあわわになるやつとかも買ってみたいりましたが、結果的にバブに落ち着きました。効能はよくわかりませんが、なんとなく効いてる気がします。



ディレクター
北川 雄太

小中高大と大阪で過ごした関西人。ITコンサルタントとして金融系のシステム開発を経験後、UXに注力したいという思いからシナップへ入社。猫派。朝シャン派。好きな言葉は「コスバ」。

モノノフ歴10年、ももクロちゃん



昨年は有観客ライブこそなかったものの、配信ライブやYouTubeへの投稿がたくさんあって、元気をもらいました。ライブ観戦時は家の中だろうと両手にペンライトを持ってドタバタしているので、自然と運動不足も解消できました。



ディレクター
村田 歩美

Slerにて業務アプリケーションのプロジェクト管理・開発全般を経験。ユーザ視点でのサービス作りに携わりたいたいという思いからシナップへ入社。大阪生まれ東京育ち。猫と果物が好き。

庭先で鍋をつつくこと



料理を作ることはストレス解消にもなる、とよく言われますよね。好きな鍋料理を自宅の庭で作って家族に振る舞うのが自分にとってのリフレッシュ方法。冬の寒さの中、暖かい鍋をハフハフ言いながらつつくのは最高！コロナ禍で完全自宅仕事になってからは、ほぼ毎週こんなことをやっています。



パートナー
大崎 誠

フリーランスのPM、制作会社、Sier等を経て2006年に独立。様々な案件のPM業務や運用コンサルティング業務に従事しつつ後進指導の講師業も行っている。幼児教育や世界の鍋料理探索などもライフワーク。将来はタイに移住するのが目標で、タイ語の学習を継続している。—d-three(ディースリー)

YouTubeで落語ざんまい



子どもの頃から落語好き。笑っていれば疲れた脳も、みひゃーっと緩み、免疫力も向上いたします。同じ寄席芸ですが江戸は話芸、上方はエンターテイメント。近頃ではYouTubeという結構なものがございまして、三遊亭圓生と桂枝雀あたりで、東西聴き比べも乙な楽しみ方です。お後がよろしいようで。



パートナー
西口 みな子

大阪で3年、東京の広告制作会社でコピーライターとして12年勤務。金融・流通・住宅・生保・出版などの広告と企画・販促を経験し、フリーランスに。一番メジャーな仕事は映画ドラえもん(2006～2013)のキャッチコピー。

夫婦で子供をかわいがる



親になったとき唐突に、とても前向きに「自分の人生はひとまず終わった」と思いました。すべての未来は子供たちと向き合うもので、それまでの人生はその前半だったのです。妻や子が笑うと自分のこととして嬉しい。なので、世界的にも、1歳と0歳の育児も、とても大変なこの頃ですが、ぼくは幸せです。



パートナー
松島 智

コミュニケーションとデザインの研究で大学院修了後、シナップ在籍11年を経て独立、以降もパートナーとして深く関わる。屋号 String & Letters(紐と手紙/文字列と文字)のとおりに「読む」ためのデザインで評価が高く、開発したEPUBビューワ「Bibi」は世界中で利用されている。一昨年に息子が、昨年は娘が生まれました。

ツーリングプラン作成



バイクで行ってみたいなーと思う場所にどうやって行くかを考えてます。特に翌週にでも行けそうな実現性のある場所で「ルートはどうするか?」「ご飯はどうするか?」を考えてるときは凄くワクワクします。この時期は寒くてほしい考えるだけになってしまいますが(笑)



ディレクター
塩入 樹

神奈川県出身。自動車部品メーカーのEC担当、旅行代理店のWebディレクターを経験後、制作会社で幅広い案件に関わりたくと考えシナップに入社。カメラとライブと野球が好き。

ピアノ練習



自宅でピアノの練習する事です。まだ初心者なので音色を奏でられず自分の演奏でリラックス...とはいきませんが、仕事とは違う脳領域を使っている感覚でとてもリフレッシュします。娘の方が習得が早いので置いていかれないように必死です。



パートナー
綿村 和也

フリーランスのデザイナー。山口県生まれ、千葉県育ち。デジハリを卒業後、2003年からSier企業のUIデザイナーとしてキャリアをスタート。父親が元カメラ屋のため、小さい頃からフィルムカメラに親しむ。最近の趣味は娘のために買ったピアノでどの位置から覚えつつアンパンマンの曲を弾くこと。

お風呂で読書



iPad miniを持ち込んで風呂に浸かりながら本を読むようにしています。技術書は眺める程度しか読めないですが、色々な本を読んで得た気づきとかあれこれ考えてみたり。立ち止まってぼんやりと考える時間を強制的に作っています。



パートナー
柳谷 真志

CMSを中心としたWeb制作会社 bit part の代表社員でディレクター。大規模から小規模まで多くのWebサイト構築案件に関わり、CMS案件の設計業務やプロジェクトの進行管理などのディレクション業務を担当。チームでの開発をスムーズに進められるように日々意識しています。

珈琲三昧



宮城の友人から届く珈琲豆をいつも飲んでますが、たまに日本各地の名店から取り寄せてみたり、自分で焙煎するなど。抽出もネルやらペーパーやいろいろ。微粉取りの道具が面白く、網の細かさでかなり味わいが変わります。あれこれ試してるうちに気分転換の域を超えてしまいがちですね～



パートナー
石田 智之

1990年代からDTPやWebに関わり、現在はトリムマークの社長として設計などの裏方仕事と撮影を担当。日本酒、珈琲、お茶など飲み物担当、食べ物はかつおぶしとしらすがあれば万事OK。高尾山の裏から表へプチ移住して、早朝登山が日課になりました。

粉もの料理



大きな麺台をamazonで購入し、おいしい小麦粉を取り寄せて、さらにドライイーストを買って、、、パン、ピザ、うどん、餃子といろいろ作ってます。カロリー高め小麦粉料理に囲まれると大変幸せな気分になります。そんなことしてるとすごい太ってしまったので、お家でできるトレーニングしてます。



パートナー
柿内 暢昌

シナップで7年間Web制作に従事した後、2014年からフリーのフロントエンドエンジニア及びテクニカルディレクターとして活動中。Webアプリのフロントエンド作成、インタラクション、アニメーションの作成を得意としている。屋号はスタジオカッキー(studio-kakky.com)3度の飯も釣りも好き。

フルリモートワークになった シナップの1日の流れ

フルリモート体制に移行したシナップ。オンラインでもスムーズに仕事ができるように、色々なツールやサービスも活用しながら、工夫をして仕事をしています。今回はそんなシナップの1日の流れをご紹介します！



① モーニング

出退勤は人事労務freeeを利用しています。専用のアプリから出勤ボタンをポチッ！朝礼が始まる前までに、**当日の活動予定をチャットに流して全員に共有**します。「つぶやき」という項目があり、日々の出来事や面白かった話など気軽にシェアしています。

② 10:00 朝礼

10時になったら**zoomミーティングで全員集合**。朝のあいさつにはじまり、前述の活動予定をベースにお互いの動きを確認します。ファシリテーターは一週間毎に持ち回りです。全員が主役。顔を見て**お互いの存在を感じたり、調子などを確認するのは大切**ですね。



③ ビジネスアワー

日中は**Tandem***というアプリを利用して**お互いのステータスを共有**。「いまお昼」「会議中 14時まで」など、話かけられるタイミングか、返信が期待できるタイミングなのかをわかりやすくしています。

会話はChatwork、タスクの管理はBacklog、ミーティングはzoomを主に利用しています。このあたりは利用しているサービスは多少違えど、みなさんとわりと似ているかもしれません。シナップでは**クライアントともこれらのサービスを利用して、まるで同じ会社のメンバーのようにコミュニケーションを密にとり、仕事をスムーズに進めています**。

* Tandemは同名の語学学習サービスがありますが異なります。
<https://tandem.chat/>



④ 18:00 夕礼

18時、**zoomミーティングで再び全員集合**します。今日やったことや、これからやること、明日の予定などをお互い共有します。困っていることがあれば、その場で気軽に声をかけて個別ミーティング開催も。とくに新人さんはこのあと**メンターミーティングと呼ばれる先輩スタッフとのミーティングで手厚くサポート**。



⑤ 終業

1日の仕事を終わったら人事労務freeeで退勤ボタンをポチッとな。今日も1日、お疲れ様でした。

多くのWebサービスに共通する課題

デジタルプロダクト/Webサービスに関わる方々にとって「UXリサーチ」という言葉やユーザー体験の重要性は、すでによくご存知かと思えます。

シナップでも新規サービスの立ち上げや既存サービスの見直しの際に、クライアントからUX調査のご依頼をいただくことが増えてきました。

こうした調査では、対象となるサービスやその周辺環境、対象となるユーザ

いますぐできる
利用者のネガティブな感情を取り除き、ポジティブな感情をもたらすUXデザインのヒント



ーを調査し、ユーザーの感情やその変化を様々な角度から調べていきます。その過程ではサービス固有の課題が浮き彫りになってくるケースも多くあります。

その一方で、こうした調査を繰り返して行っていくとデジタルプロダクト/Webサービスではほぼ必ず挙げられるユーザーのネガティブな感情を引き起こす課題があります。

これは裏を返せば、多くのサービスが共通して抱えている問題であり、この点に関してはわざわざコストをかけて

調査する必要がありません。むしろ思い当たる節があるならば今すぐ取り組み始めたほうが、時間も節約でき、ライバルと差をつけ、ユーザーのポジティブな感情を引き出す可能性の高い改善策だと言えます。

そのユーザーにネガティブな感情をもたらす課題とは左の囲みにまとめたようなものです。

- ・表示が遅い
- ・入力項目の多さ/入力のしにくさ
- ・エラーが返ってくる入力ができるしまう
- ・見にくい色調
- ・閲覧を阻害する広告(とくにポップアップ)
- ・多すぎる注意書き
- ・モーダルが多い
- ・一貫性のないUI

その課題を解決するだけでライバルとの差をグッと広げる

どうでしょうか。当たり前のことだと感じる一方で、一つ

は思い当たる節があるのではないのでしょうか。

もし思い当たる節があれば、それは改善に取り組み好機です。きっとユーザーからネガティブな感情を取り除くことができるでしょう。

こうした改善は地味に思われますが、徹底できるかどうか、サービスの品質をあげることに繋がります。

具体的な改善案に困ったら

課題はわかった。じゃあフォームはどう最適化すればいいの？モーダルを減らすにはどう考えたらいいの？

そんな時こそシナップです。

シナップではこれまでの調査や実績に基づいた提案から、A/Bテストによる最適化などを通じて、継続的に精度を高めていくアプローチも可能です。多くのデジタルプロダクト/Webサービスはいまやアプリケーションと同じく、バージョンアップしていくものです。UXリサーチからA/Bテストまで、定性調査と定量調査を織り交せて継続的に改善していくことが、とても重要な時代になってきました。その両方を理解できるシナップに、ぜひご相談ください。